

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月23日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4270800404		
法人名	医療法人社団昌徳会		
事業所名	グループホームかもめ		
所在地	〒859-4752 長崎県松浦市御厨町里免893番地 (電話) 0956-73-5945		
評価機関名	特定非営利活動法人医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	平成20年10月23日	評価確定日	平成20年12月26日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 8月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 8人, 非常勤 9人, 常勤換算13.2人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2階建ての 1～2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	7,500+実費 円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	200 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		800 円	

### (4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	4名	要介護2		6名	
要介護3	5名	要介護4		2名	
要介護5	1名	要支援2		-名	
年齢	平均 87歳	最低	78歳	最高	97歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田中病院 高島歯科医院
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、景色が良い海岸沿いに二階建て建てられており、それぞれの階でユニットを運営されています。駐車場も広く、玄関にはベンチや菜園などが準備され、ゆったりとした時間が過ごせる空間となっています。母体に療養型の病院を持ち、日頃の定期受診のみならず急な医療面における対応も可能ということで、ご家族にとっても大きな安心とされているようです。管理者及びスタッフは、地域の中の家庭的な環境で、ご利用者一人ひとりが自分らしく過ごされるような支援を理念に掲げ、日々の支援に取り組まれています。ご利用者は料理の下ごしらえ等、ご自分のできられる活動・場面には自然に参加される環境となっています。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) <b>改善に向けた計画的な取り組みが行なわれています。</b> 前回の外部評価結果に基づき、改善シートを作成し優先順位にそって改善活動及び評価見直しが行われています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	②	<b>非常勤スタッフの自己評価へのかかわりも求められます。</b> 自己評価を「ご利用者がより良い環境で生活できるように」「それを支えるスタッフの職場環境の向上」と理解し取り組まれています。常勤スタッフのみの取り組みとなっています。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) <b>会議開催の頻度とその構成メンバーについて見直しが必要です。</b> 運営推進会議は積極的な意見交換が議事録により確認できるものの、今年度においてはまだ1回のみ開催といった状況です。開催頻度については、2ヵ月に1回を目指されていることが議事録で確認できますので、今後の取り組みに期待します。また、参加メンバーにグループホームについて知見を有する方を含めることも求められます。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) <b>ご家族の意見を聴取する姿勢がうかがえます。</b> 面会時などにご家族との情報交換を心掛けられています。また、ご家族の意見を運営に反映させた実績も確認できます。今後も、ご意見や苦情の積極的な聴取によりサービスの質の向上につなげる取り組みが期待できます。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) <b>積極的な取り組みが見受けられ、今後の取り組みにも期待できます。</b> 近隣の方々に緊急連絡先としての登録をいただくなど独自の取り組みが行なわれています。また、地域の祭りへの参加やボランティア活動の受入れなども積極的に行なわれています。

(別紙2-2)

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	様々な暮らしについて表現された理念から、地域の中の家庭的な環境で、ご利用者が自分らしく過ごせるような支援を目指されていることが読み取れます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関や事務室に掲示されているとともに、毎日のミーティングの中で唱和され、日々の支援の中で常に立ち戻られるよう互いに意識されあうものとなっています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月市報を届けていただく機会などに互いの情報交換を行うなどの交流がなされています。また、地域のお祭りなどの行事にも参加されたりボランティアの受け入れなども積極的に行い地域との関わりを大切にされている様子がうかがえます。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果は、外部評価についてのみではありますが、改善シートを活用した計画的な改善への取り組みや評価が行われています。自己評価については、常勤スタッフのみの取り組みとなっています。	○	自己評価については常勤スタッフのみならず、支援に携わられているスタッフ全員で現状を振り返る機会とされることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状、運営推進会議の今年度における開催は一回のみという状況ですが、積極的な意見交換がなされていることが議事録から確認できます。また、2ヵ月に一回を実現する意向も議事録から読み取ることが出来ます。	○	開催頻度については是非、2ヵ月に一回を実現されるよう今後の取り組みについて期待します。また、参加者についてはグループホームについて知見を有する方を加えられることが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とのかかわりは、月に一回程度訪問し情報交換するとともに、運営規程・重要事項説明書などの内容について助言を受けられるなど、連携に向けた関係構築が実現されています。また、ご利用者に関する相談で、保護課とも連携が図られています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に「健康管理情報」を、また2ヶ月に一度は「かもめだより」を利用者の写真等と一緒にご家族へ郵送されています。また変化が生じた場合は電話ですぐに報告をされています。金銭管理報告についてはご家族の来所時に説明をされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来所時に意見や不満、苦情等の聴取に努められており、ご家族からの意見により郵送物のチェック表を作成され郵送漏れの再発防止策をとられるなど運営に反映させた事例も確認できます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やりがいを持てる働きやすい職場づくりを目指され、職員間のコミュニケーションも良好な様子がうかがえます。離職の声にもその原因に耳を傾け、可能なものについては対処されています。職員の異動の際には、ご利用者への配慮を一番に考えた取り組みを心掛けられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフに対し法人内外の研修に関する情報が提供され受講を促す仕組みとなっています。また、研修受講後は、研修報告書が作成され会議の中で報告されることで他のスタッフへも情報の共有が図られています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、市内で開催されている連絡会や研修会へ参加され同業者との交流の機会がもたれています。しかし、スタッフ同士の交流機会はまだまだ少ない状況です。	○	管理者のみにとどまらず、スタッフによる他ホーム職員との交流の機会または見学訪問される機会を持つなどの積極的な取り組みにより、質の向上やスタッフのスキルアップにつなげる活動も期待します。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学に来られることを推奨し、状況に応じて入院先や居宅への訪問も行われています。入居後も環境変化の不安を取り除くため、外出や面会の機会を多くしたり、ご家族の協力を得ながら馴染みの物を身近に持たれることで不安感をやわらげるなどの取り組みも行われています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、ご利用者を人生の先輩や家族に近い存在として、利用者と介護者としての関係ではなく、人と人の関係づくりを目指されています。支援についても不自由な分だけを意識され本人主体の意識を常に心がけられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時のアセスメントでは生活面に重きを置いた聞き取りを意識され、日々のかかわりの中では、表情や行動観察から意向や希望の把握に努められています。スタッフの気づきなどについては、生活記録により情報の共有化が図られています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族等からの情報及びスタッフの気づきなどを会議で確認し、それを基に介護計画が策定されています。作成された計画のご家族への説明同意も署名により確認できます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月アセスメントを実施し、3ヵ月に1回のプランの見直しが行われています。また、プラン変更につながる課題が生じている場合など、必要に応じて医師や関係者と協議した上で、随時のプラン変更につながられています。プランの変更はスタッフ会議や申し送り簿でも共有されています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者の希望により外部の理美容を利用されたり、馴染みの商店へ買い物、菩提寺への参拝、他施設入所中の親戚訪問など細かい希望にも対応されています。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	現状、離島からの入居者も多いため、契約時確認のもと全て同法人の病院がかかりつけ医となっています。それにより夜間などの急変時の対応や毎月の往診も実現されています。受診結果については「健康管理情報」により共有されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「看取り介護指針」について重要事項説明時に同意が得られています。ご利用者の終末期等への意向については、できる範囲で意向に沿うといった状況で、看取りの実績もあります。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日頃よりスタッフ間で個人情報の取り扱いについて確認しあうよう心掛けられています。また、「尊厳・その人らしさ」の意味を常に意識され、それはスタッフの言葉遣いや対応などからもうかがい知ることが出来ます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の過ごし方にはある程度の流れはあるものの、観察や会話にて一人ひとりの意向を把握し、気分転換の外出を促すなど気持ちへの配慮がなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや食事の準備など、ご利用者が関わりを持たれる場面は見受けられません。しかし、食事代の負担等の問題もありスタッフは自分で用意したお弁当を食されています。また、調理については2階ユニットで行われています。	○	調理する過程において生じる音や料理の匂いなども食事を楽しむ要素と考え、1階ユニットでも調理されることを期待します。また、同じものを同じテーブルで食することのもたらすプラスの影響についても再考されることを期待します。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、基本的な曜日設定がありますが、希望に応じた柔軟な対応も行われています。5月にはしょうぶ湯を準備されるなど、季節に応じた配慮もうかがえます。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常の会話からご利用者の趣味や得意事を把握し、それを活かした役割や活動などを設定されています。ご利用者の中には趣味を活かし製作物を作品展に出品される方もいらっしゃいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買い物は、ご利用者の外出の機会のひとつとなっています。それ以外にも日常的な近隣への散歩や日向ぼっこが行われています。また、通院の帰りの買い物や車いすでの外出支援も行われています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は居室、玄関ともに施錠されることはなく、ご利用者の行動に寄り添い見守ることを基本に支援されています。帰宅願望の強い方については落ち着かれるようホーム周辺の散歩を促すなどの工夫が見受けられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方の訓練を、また夜間を想定した訓練も実施されています。ホーム近隣の民家5軒には緊急連絡先として登録していただき、災害時の協力依頼がなされています。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事および水分の摂取状況については記録され、必要に応じて同法人の病院の管理栄養士より栄養指導や食中毒防止に関するアドバイスを受けられています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓から広く海が広がる景色の良い立地でもありますが、季節の花々が玄関前や室内にも素敵に飾られています。また、ご利用者や来所者の感想や気づきも参考にされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室への持ち込みは制限を設けられておらず、自由となっています。仏壇やタンス、コタツやソファなど思い思いに馴染みの品が持ち込まれています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。